

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 山田コンサルティンググループ株式会社  
 コード番号 4792 URL <http://www.yamada-cg.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 山田 淳一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷田 和則  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6212-2500

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,633	△7.2	360	△7.0	352	6.1	464	162.8
25年3月期第1四半期	1,760	27.6	388	168.6	332	153.1	176	151.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 518百万円 (146.9%) 25年3月期第1四半期 210百万円 (164.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9,658.65	9,580.61
25年3月期第1四半期	3,683.97	3,674.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	7,647	6,469	82.8	131,354.17
25年3月期	7,668	6,159	78.5	125,435.43

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,339百万円 25年3月期 6,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,500.00	—	3,500.00	5,000.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2,500.00	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)の期末配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期(予想)の1株当たりの期末配当金は3,500円、1株当たりの年間配当金は6,000円となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	△5.9	560	△19.9	565	△10.8	580	67.6	120.34
通期	6,700	△0.9	1,350	△3.1	1,360	△5.3	1,050	34.4	217.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行う予定であります。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	49,740 株	25年3月期	49,740 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,480 株	25年3月期	1,691 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	48,125 株	25年3月期1Q	48,007 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定その他関連事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行う予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)の業績は、売上高1,633,701千円(前年同期比7.2%減)、営業利益360,785千円(同7.0%減)、経常利益352,648千円(同6.1%増)、税金等調整前四半期純利益603,519千円(同81.6%増)、四半期純利益464,822千円(同162.8%増)となりました。

なお、売上高及び営業利益が前年同期比減少した要因は、前第1四半期連結累計期間では事業承継ファンドの投資株式の売却による売上計上額が287,240千円、その売却に伴う営業利益計上額が70,496千円あったのに対して、当第1四半期連結累計期間ではそのような投資株式の売却による売上計上額及び営業利益計上額がなかったことによります。

一方、税金等調整前四半期純利益が前年同期比大幅に増加した要因は、当第1四半期連結累計期間においてキャピタルパートナー・二号ファンドの投資株式の売却により関係会社株式売却益を250,870千円特別利益計上したのに対して、前第1四半期連結累計期間ではそのような特別利益の計上がなかったことによるものであります。

(なお、平成26年3月期通期連結業績予想の売上高及び営業利益が前年度実績比減少していること、一方で平成26年3月期通期連結業績予想の当期純利益が前年度実績比大幅に増加していること、につきましても上記に説明した2つの理由によるものであります。)

各セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

## (経営コンサルティング事業)

経営コンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高1,245,055千円(前年同期比14.5%増)、営業利益323,190千円(同19.1%増)となりました。

企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティング案件の受注状況・加工作業が順調であったことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

## (資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高126,135千円(前年同期比16.0%減)、営業損失18,591千円(前年同期は10,060千円の営業利益)となりました。

当第1四半期に見込んでいた数件のM&A仲介案件の売上実現が第2四半期以降にずれ込んだこと等から、当第1四半期は営業赤字となりました。

## (不動産コンサルティング事業)

不動産コンサルティング事業の当第1四半期業績は、売上高112,243千円(前年同期比19.0%減)、営業利益26,998千円(同34.4%減)となりました。

業績は前年同期比減収減益となっておりますが、不動産仲介案件及び不動産有効活用を中心としたコンサルティング案件の地道な積み上げにより、当初計画通りの業績を確保することができました。

## (FP関連事業)

FP関連事業の当第1四半期業績は、売上高183,715千円(前年同期比37.8%増)、営業利益35,770千円(同473.3%増)となりました。

FP実務企業研修及び確定拠出年金導入企業に対するDC関連研修の受注がそれぞれ順調であったことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

## (投資ファンド事業)

投資ファンド事業の当第1四半期業績は、売上高3,985千円(前年同期比98.6%減)、営業損失6,999千円(前年同期は58,825千円の営業利益)となりました。

事業承継ファンドのキャピタルソリューションファンドでは、投資株式の売却による投資損益は発生しませんでした。

キャピタルパートナー・二号ファンドでは、投資株式の売却により関係会社株式売却益を250,870千円特別利益計上いたしました。

なお、キャピタルパートナー・二号ファンドは投資株式全ての売却が完了いたしましたので、平成25年5月31日をもって解散いたしました(平成25年7月2日に清算手続き完了)。

(注) 上記の各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高37,432千円(経営コンサルティング事業24,312千円、資本・株式・株主に関するコンサルティング事業7,500千円、不動産コンサルティング事業1,292千円、FP関連事業4,327千円)が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第1四半期連結累計期間における営業活動、投資活動、財務活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

(全体キャッシュ・フローの概要)

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、法人税等の支払額343,731千円、配当金の支払額149,136千円、その他の負債の減少額174,215千円、その他の資産の増加額66,161千円、少数株主への分配金の支払額55,461千円等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益が603,519千円あったこと、関係会社株式の売却による収入268,870千円、賞与引当金の増加額80,451千円があったこと等から23,616千円の資金増（前年同期は243,738千円の資金減）となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は3,517,122千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、115,627千円（前年同期は28,992千円の資金増）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が603,519千円あったこと、賞与引当金の増加額80,451千円等があった一方で、法人税等の支払額343,731千円、関係会社株式売却益250,870千円、その他の負債の減少額174,215千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、278,735千円（前年同期は54,661千円の資金減）となりました。

これは、関係会社株式の売却による収入268,870千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、140,171千円（前年同期は216,886千円の資金減）となりました。

これは、短期借入金の純増額50,000千円等があった一方で、配当金の支払額149,136千円、少数株主への分配金の支払額55,461千円（当社グループ運営ファンドの当社グループ外出資者に対するファンド分配金支払額）があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① セグメント別の状況

## (経営コンサルティング事業)

当期(通期)につきましても、引き続き企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティングニーズが高い状況にあることから、順調な業績を確保することができると見込んでおります。

今後も地方拠点を中心に積極的に地方展開を推し進めるとともに、シンガポール支店及び中国現地法人を拠点として中国・アジア展開も積極的に推し進めてまいります。

## (資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

当期(通期)につきましては、大手証券会社等の金融機関との営業ネットワークの更なる強化により営業基盤を確立し、安定的な受注体制構築に注力してまいります。ファイナンシャルアドバイザー業務及びバリュエーション業務では安定的な受注を見込んでおり、加えてM&A関連業務を拡大推進することにより、前年度対比で増収増益を目指してまいります。

## (不動産コンサルティング事業)

当期(通期)につきましては、提携会計事務所との連携強化等、営業基盤構築に注力してまいります。その上で不動産市況の変化にあわせ、幅広いコンサルティング業務を地道に行うとともに賃貸管理業務及び住宅の販売仲介業務を強化することにより、安定的な利益確保を目指してまいります。

## (FP関連事業)

当期(通期)につきましては、DC関連研修の受注が順調に推移すると見込んでいること、及び顧客ニーズを的確に捉えたオーダーメイド型のFP実務企業研修の提案等を行うことにより、当初計画以上の業績を目指してまいります。

また、相続手続に関するサポート業務につきましては、提携金融機関との強固な連携関係の構築に注力してまいります。

## (投資ファンド事業)

投資ファンド事業は、キャピタルパートナー・二号ファンドの解散により企業再生ファンドは全て完了いたしましたので、今後は以下の事業承継ファンドのみとなります。

キャピタルソリューション壱号ファンドは、残存投資株式のイグジットを目指してまいります。

キャピタルソリューション弐号ファンド(ファンド総額10億円)は、事業承継問題を抱えている優良な中堅・中小企業をターゲットにし、投資リスクを最小限に抑えながら慎重に投資案件を発掘してまいります。

## ② 平成26年3月期の連結業績予想

キャピタルパートナー・二号ファンドの株式売却及び清算に伴う税金費用計上見込額が前回予想に比べて110百万円減少することが判明いたしました。

これにより、第2四半期累計期間の当期純利益は前回予想470百万円から110百万円増加し580百万円となる見込みとなりました。同様に通期の当期純利益につきましても前回予想940百万円から110百万円増加し1,050百万円となる見込みになりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益につきましては、第2四半期累計期間及び通期ともに前回予想からの修正はありません。

## 平成26年3月期の連結業績予想(修正前)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計期間	3,100	560	565	470
通期	6,700	1,350	1,360	940

## 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年7月26日修正後)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計期間	3,100	560	565	580
通期	6,700	1,350	1,360	1,050

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,493,506	3,517,122
受取手形及び売掛金	577,961	586,185
営業投資有価証券	224,229	1,057,993
商品及び製品	17,060	22,854
原材料及び貯蔵品	564	645
繰延税金資産	70,122	102,981
その他	215,740	273,066
貸倒引当金	△37,911	△36,763
流動資産合計	4,561,273	5,524,085
固定資産		
有形固定資産	199,986	197,267
無形固定資産		
のれん	1,716	1,675
その他	21,268	20,446
無形固定資産合計	22,985	22,122
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,727	1,329,571
敷金及び保証金	276,905	274,201
繰延税金資産	169,410	72,190
その他	240,568	243,130
貸倒引当金	△17,044	△17,044
投資その他の資産合計	2,881,569	1,902,049
固定資産合計	3,104,541	2,121,439
繰延資産	2,589	2,367
資産合計	7,668,403	7,647,892
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,306	71,864
短期借入金	250,000	300,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
未払法人税等	337,404	10,538
賞与引当金	85,619	166,071
その他	636,256	478,345
流動負債合計	1,426,587	1,096,819
固定負債		
社債	60,000	60,000
繰延税金負債	2,353	2,522
その他	20,183	18,870
固定負債合計	82,536	81,393
負債合計	1,509,124	1,178,212



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,599,538	1,599,538
資本剰余金	1,518,533	1,518,533
利益剰余金	3,135,391	3,420,400
自己株式	△232,486	△203,476
自己株式申込証拠金	611	—
株主資本合計	6,021,587	6,334,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,616	3,207
為替換算調整勘定	454	950
その他の包括利益累計額合計	6,071	4,157
新株予約権	12,544	7,586
少数株主持分	119,076	122,941
純資産合計	6,159,279	6,469,680
負債純資産合計	7,668,403	7,647,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,760,708	1,633,701
売上原価	356,056	170,618
売上総利益	1,404,652	1,463,083
販売費及び一般管理費	1,016,637	1,102,297
営業利益	388,014	360,785
営業外収益		
受取利息	5,866	8,902
受取配当金	—	1,439
その他	1,161	1,700
営業外収益合計	7,027	12,041
営業外費用		
支払利息	2,128	1,191
為替差損	34,421	14,896
持分法による投資損失	21,611	—
その他	4,572	4,090
営業外費用合計	62,733	20,178
経常利益	332,308	352,648
特別利益		
関係会社株式売却益	—	250,870
特別利益合計	—	250,870
税金等調整前四半期純利益	332,308	603,519
法人税、住民税及び事業税	128,432	16,864
法人税等調整額	△7,304	65,940
法人税等合計	121,127	82,805
少数株主損益調整前四半期純利益	211,180	520,713
少数株主利益	34,323	55,891
四半期純利益	176,856	464,822

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211,180	520,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,067	△2,409
為替換算調整勘定	—	495
その他の包括利益合計	△1,067	△1,913
四半期包括利益	210,113	518,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,789	462,909
少数株主に係る四半期包括利益	34,323	55,891

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	332,308	603,519
減価償却費	7,605	7,676
のれん償却額	2,145	40
持分法による投資損益(△は益)	21,611	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△250,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,561	△1,147
賞与引当金の増減額(△は減少)	80,570	80,451
受取利息及び受取配当金	△5,866	△10,341
支払利息	2,128	1,191
為替差損益(△は益)	33,218	14,896
投資事業組合運用損益(△は益)	750	464
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	217,097	—
売上債権の増減額(△は増加)	76,907	△8,223
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,246	△5,875
仕入債務の増減額(△は減少)	332	24,557
その他の資産の増減額(△は増加)	△46,729	△66,161
その他の負債の増減額(△は減少)	△206,163	△174,215
小計	505,106	215,962
利息及び配当金の受取額	9,887	12,943
利息の支払額	△1,427	△802
法人税等の支払額	△484,573	△343,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,992	△115,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,042	△7,323
無形固定資産の取得による支出	—	△1,346
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△6
関係会社株式の売却による収入	—	268,870
出資金の分配による収入	—	12,000
敷金及び保証金の差入による支出	△785	△1,100
敷金及び保証金の回収による収入	—	2,182
貸付金の回収による収入	—	7,500
その他の支出	△2,040	△2,040
その他の収入	206	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,661	278,735
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50,000
少数株主からの出資受入による収入	18,992	3,435
自己株式の処分による収入	53	11,740
配当金の支払額	△80,817	△149,136
少数株主への分配金の支払額	△154,258	△55,461
その他	△855	△749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,886	△140,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,182	679
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,738	23,616
現金及び現金同等物の期首残高	3,690,457	3,493,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,446,718	3,517,122

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサルティング事業	資本・株式・株主に 関するコンサル ティング事業	不動産コンサル ティング事業	F P 関連事業	投資ファンド 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,071,392	130,003	138,650	130,293	290,368	1,760,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,080	20,270	—	2,959	—	38,310
計	1,086,472	150,274	138,650	133,253	290,368	1,799,019
セグメント利益	271,338	10,060	41,179	6,238	58,825	387,641

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	387,641
セグメント間取引消去	372
四半期連結損益計算書の営業利益	388,014

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な変動はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサルティング事業	資本・株式・株主に 関するコンサル ティング事業	不動産コンサル ティング事業	F P 関連事業	投資ファンド 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,220,742	118,634	110,950	179,388	3,985	1,633,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,312	7,500	1,292	4,327	—	37,432
計	1,245,055	126,135	112,243	183,715	3,985	1,671,134
セグメント利益又は損失(△)	323,190	△18,591	26,998	35,770	△6,999	360,368

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	360,368
セグメント間取引消去	417
四半期連結損益計算書の営業利益	360,785

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な変動はありません。